

特集 1

あなたは大丈夫?!

脳血管疾患

いまや日本は世界一の長寿国となりました。
 昭和22年の平均寿命は男性50歳、女性53歳、
 末子が結婚するのを見届けることができるかどうか、というところでした。
 以来50年の間に、男性79歳、女性85歳まで平均寿命は延びてきました。
 末子の独立後、20年から30年の自由な時間を過ごせそうです。
 ところが、平均寿命に比較すると健康寿命は6~8年短く、
 最後の数年間は障害を抱えた状態で過ごしているのが平均的な日本人です。
 人生を全うする直前まで元気に、ニコニコと過ごしたいもの。
 そのためには何に気をつければいいのでしょうか。



要介護ならびに寝たきりの 原因疾患第二位

厚生労働省「国民生活基礎調査」によると、「要介護になった原因疾患」第1位は「脳血管疾患」です。実に4人に1人。

また、寝たきりの原因ランキングではさらに「脳血管疾患」の比率が高まっています。1998年の国民生活基礎調査では、わが国の寝たきりの人の数は35万6000人と

毎年35万人が発症

「脳卒中は国民病」といわれた時代がありました。昭和30年から50年ごろです。最近では治療法が進歩し、高血圧の危険性が周知されたこともあって、死因としては「癌」「心臓病」に次ぐ第3位になっています。

しかしながら、毎年新たに35万人の人が脳卒中にかかっています。全体の患者数としては、がん患者の127万人を大きく上回る147万人(推定)にもなります。

